



























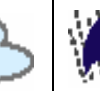
















1. 景気動向

景気が低迷する中、全業種においてますます競争が激化している。DI値（好転と回答した数から、悪化と回答した数を引いた値）はほとんどの業種において引き続きマイナスで推移している。しかし、建設業、製造業のDI値のマイナス値は減少傾向にある。経営上の問題点としては、小売業が「他地域への流出」、その他の業種は「需要の停滞」と回答している。今後、経営資源の開発、自社自店の「強み」をさらに活かした経営が望まれる。

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	7月～9月	10月～12月	7月～9月	10月～12月	7月～9月	10月～12月	7月～9月	10月～12月	7月～9月	10月～12月
	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高	 22	 39	 23	 27	 70	 60	 53	 47	 26	 35
採算	 44	 44	 32	 29	 50	 60	 56	 53	 43	 30
資金繰り	 28	 22	 29	 21	 40	 30	 53	 53	 22	 26
業況	 39	 39	 16	 20	 40	 50	 58	 56	 35	 35
経営上の当面する問題点	1位	民間需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		購買力の他地域への流出		需要の停滞
	2位	請負単価の低下・上昇難		製品(加工)単価の低下・上昇難		販売単価の低下・上昇難		需要の停滞		利用料金の低下・上昇難
	3位	官公需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		大企業の進出による競争の激化		大型店・中型店の進出による競争の激化		利用者ニーズの変化への対応
業種別コメント	<p>6月調査時に比べ、売上、採算等が好転・増加と回答した企業がやや増加した。経営上の問題点としては、第1位は民間需要の停滞、第2位が請負単価の低下・上昇難となっている。売上・利益が増加した企業も多少あるが、経営は依然として厳しい状況が続いている。</p> <p>全体的にマイナスDI値の割合が減少しており、業況はやや上向きつつある。しかしながら、問題点の上位に製品(加工)単価の低下・上昇難がきているところから、採算面では逆に厳しい状況となっているようだ。また、設備投資を行う企業割合が増加しているが、企業間での格差があり、必ずしも業界全体が上向きとはいえない状況が続いている。</p> <p>調査項目の中で、売上が悪化・減少と回答した企業が、全回答の80%を占めており、他の業種と比較しても厳しい状況にある。需要の停滞と販売単価の低下・上昇難が、業種を問わず大きな問題点となっており、来期の見通しもさらに悪化するものと予想される。</p> <p>冷夏による消費購買意欲の減退等により、今月調査時に引き続き売上が伸び悩んでいる。秋の行楽シーズンで加茂山周辺をはじめ行楽客等の流れはあるものの、飲食店等では売上増に結びつかない。新・忘年会を控えているも、経営上の問題点にもあるとおり、利用料金の単価引き下げに対応せざるを得ない為、厳しい声が寄せられている。</p>									

*表中の天気図はD・Iを以下のように分類したものです。

				
とくに好調(50 DI)	好調(25 DI<50)	まあまあ(0 DI<25)	不振(25 DI<0)	きわめて不振(DI<25)

当所では分析にあたってD・I（好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値）を採用しました。